

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公開番号】特開2012-162080(P2012-162080A)

【公開日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2012-24298(P2012-24298)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月9日(2015.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

相変化インクプリンタの動作方法であって、

インクの一部が液体にありかつ前記インクの別の部分が固体にあって前記インクが相を変えつつある間に、前記相変化インクプリンタのインク流路内の前記インクへ複数の圧力パルスを印加することを含む方法。

【請求項 2】

前記複数の圧力パルスを印加することは、前記インクが相を固体から液体に変えつつある間に、前記複数の圧力パルスを印加することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記複数の圧力パルスを印加することは、前記インクが相を液体から固体に変えつつある間に、前記複数の圧力パルスを印加することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記複数の圧力パルスの数は、所定時間において 3 から 15 である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記複数の圧力パルスを印加することは、前記複数の圧力パルスによって変調されたベースライン圧力の送出を制御することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記複数の圧力パルスのデューティサイクルは、75%から80%の範囲内である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記複数の圧力パルスのパターンは、規則正しい請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記複数の圧力パルスのパターンは、ランダムである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記複数の圧力パルスの振幅、持続時間及び振動数のうちの 1 つ以上は、パルス毎に変わる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記複数の圧力パルスの各々は、0 p s i g の圧力から 10 p s i g の圧力の間の転移

を含む請求項 1 に記載の方法。